

厳しかったのは高橋真梨子さんの「For You」

ジャズボーカリスト

星乃けい

official website

https://www.hoshinokei.com

先月号では表舞台を退いた後の仕事でCM、ガイドボーカル、コーラスのお話まででしたが、残りはカラオケのお話です。当時のカラオケにはアーティスト本人ではない生の声の歌も入っていました。分からなくなった時のガイド用ですね。そのうち、それと同じように歌う事で点数が付くようになりました。私は、その生歌を唄う仕事をしていました。普通の女性より声の低い私には厳しいお仕事でした。今のようなデジタル技術がなくアナログの時代なのでKeyを下げるにはテープの回転数を落とすしか方法はなく、あまり回転を落とすと元に戻した時に変な声になってしまいます。私は裏声を使わないので、出ない高音部に汗だくでした。いちばん厳しかったのは高橋真梨子さんの「For You」だったなあ。ちゃんと歌えたのか不安な出来なのに、それに合わせて歌わないと高得点が取れないなんて、今となっては申し訳ない気持ちで一杯です。すみませーん。じつは今、私の契約している事務所はカラオケ制作もしています。ときどきその制作音源を耳にしますが、もう今のカラオケ音楽は私の手の届かない世界で驚くことばかりです。本当は若い多感な時期にいろんな音楽を聴いて唄って

欲しいのに、同じようなテンポとリズム、無理やり押し込んだ日本語、違和感のあるメロディ。たしかにそれも音楽です…でも余白を味わうとか、余計なものをそぎ落とした言葉、自然に浸み込むメロディラインとか、他にもたくさんの音楽があるのになあ。もし若い方でカラオケ好きな方がいらっやいましたら次回ぜひアニソンやゲーム音楽で発散したあと、いつもと違うジャンル、雰囲気の曲を唄ってみてね!

そして作詞家業。残念ながらヒット曲を産み出すことはできず、お小遣い稼ぎ程度の収入でした。作詞家業は所属している作家事務所から依頼がきます。私は曲が書けないので、作曲家さんからの曲に詞を付けます。新人さんや、まだ売れていない人のア

ルバムなどへ提供していました。作詞家業では、ふざけていろんなペンネームを使っていました。というのも、音楽の印税収入って、配信だと多少は儲かりますが、CDだと1曲当たり1円にも満たない何十銭の世界です。私の書いた詞の曲が入ったCDが10万枚売れても10万円になりません。今の時代、10万枚売れることは滅多にありません。私にとって作詞をするのは収入を得るためではなくて、子供のころからのライフワークなんです。だから、うんうん言いながら頭をかきむしって詞を書きあげたら、それで満足!で、ホッとしてふざけたペンネームを思いついちゃうという訳です。意外と皆さんも聴いたことがあるかもしれませんよ。私、某ラグビーチームの応援歌も書いたから~(^^♪



▲Dear/高橋真梨子 VICTOR VIH-28077



Photo: Yeshiro Yasuda

2005年12月14日、ジャズシンガーとして待望のリーダーアルバム「NEARNESS OF YOU/星乃けい」、2006年12月20日「IN A SENTIMENTAL MOOD/星乃けい」をリリース。ジャズファン、ジャズメン、オーデヲファンから高く評価支持される